

未来へ夢を育む学校



学校だより

(題字 学校長)

12月号 学校長 望月 重晴



人権週間テーマ「互いの違いを認め、尊重しよう」

～温かい言葉のやりとりを通して～

児童支援専任 原 陽子

本校では、12月1日から、「人権週間」が始まります。テーマは「互いの違いを認め、尊重しよう」です。人権教育で大切にしていることは、子どもたちの人権感覚を磨き、人権意識を高めることにあります。人権感覚とは、人権が守られていることを感知しこれを望ましいと感じ、反対に人権が侵害されている状態を感知しこれを許せないとする感覚のことです。そして人権意識とは、人権が大事にされていることを肯定し、逆に侵害されていることの問題性を認識して、人権侵害を解決せずにはいられないとする意識のことです。自分も大事、友達も大事。一人ひとりの考え方や感じ方が違うことを、当たり前のことと捉え、互いに安心して、気持ちよく過ごせるようにすることが大切だと考えています。12月は「横浜市いじめ防止啓発月間」でもあります。相手を大切に思う心や行動が、いじめ防止にもつながっていきます。



11月の朝会では、11月12月の生活目標「相手の気持ちを考えながら、あたたかい言葉でやりとりをしよう」やサーチ委員会の「あいさつ運動」の取組とも関連させて、人権週間について話し、児童が友達との関わりについて考えたり、見つめ直したりするきっかけとしました。

お	おはようございます。
こ	こんにちは。
さ	さようなら。
あ	ありがとう。
ご	ごめんなさい。

「おこさあご」を使って、あたたかいやり取りができるといいね。

温かい挨拶は人と人をつなぎ、互いの気持ちを明るくすることができます。朝会では、挨拶の「おこさあご」を話題にしました。「お」は「おはようございます」、「こ」は「こんにちは」、「さ」は「さようなら」です。これらの挨拶は普段の生活でよく耳にしますが、「あ」の「ありがとう」、「ご」の「ごめんなさい」も、温かい関係づくりには大切な挨拶の一つです。ちょっとしたことで、「ありがとうございます」と相手に感謝の気持ちを伝えることで、互いの間に温かさが生まれます。また、とっさのことで

も「ごめんなさい」「いえいえ、こちらこそ…」と相手を思う言葉のやりとりの有無が、その後の互いの関係性に影響を及ぼすことは、容易に想像できます。

考え方や感じ方は、人それぞれです。関わり合いが、時としてうまくいかないことも当たり前のことです。しかし、そのことを理解した上で、どのように接すれば、相手も自分も安心して、気持ちよく過ごせるのかを考えることが大切なのではないでしょうか。人権週間の取組をきっかけにして、相手の気持ちを考えた温かい人間関係作りを広げることができるよう、児童一人ひとりがじっくり考え、行動をし、自分自身で乗り越える経験を積んでほしいと願います。そのためにも、大人が児童に寄り添い、一緒に考えながら行動を促し、背中を押してあげることも必要です。

ぜひ、ご家庭でも、人権についてお子さんと一緒に考えてみてください。よろしくお願いたします。